



言葉を使わずに 許可を得るプロセス



LIDDLE KIDZ

About

ティナ・アレン | Tina Allen
国際リドルキッズ協会 創業者



ティナ・アレンは20年以上前に小児タッチセラピーの分野での活動を開始しました。

子ども達の心身の健康、幸福、生活の質の向上、そしてその家族への揺るぎない愛情と想いを常に抱き、現在に至るまで活動を続けてきました。

タッチセラピーの世界的権威であり、国際的な教育者として、ティナはタッチを必要とする世界中の子ども達のために、人生を捧げています。

免責事項

ここに記載されている情報は、医学的なアドバイスに代わるものではなく、健康な子どもにタッチを適用する方法を提案するためのものです。紹介されているテクニックは、医療従事者の許可及びの指導がない限り、乳幼児や特別な医療ニーズを持つ子への使用はお勧めできません。また医療専門家の助言なしに、特定の治療法としてテクニックの使用を処方したり、医療助言を提供するものではありません。子どもの健康と安全を確保するため、マッサージを始める前に専門家に必ず確認を取ってください。著者および出版社は、この電子冊子のテクニックを使用することによって生じるいかなる損害や怪我に対しても責任を負いません。

国際リドルキッズ協会
<https://liddlekidz.jp>

本書の無断転載を禁じます。この電子冊子のいかなる部分も、批評や記事での簡単な抜粋を除き、出版社の書面による同意なしに複製することはできません。

著作権 © 2023 Tina Allen, 著者



触れる前に、必ず許可を得ること

マッサージやタッチセラピーと、「許可を得ること」は、切り離すことができません。これらを併用することで、子どもに対する敬意を深め、ポジティブな境界線を確立し始めることができます。「許可を得ること」は、タッチと出会うすべての子どもにとって最も重要な要素のひとつです。

医療従事者や支援者、および子どもにタッチを施術するトレーニングを受けた保護者を含むすべてのセラピストは、あらゆる理由から、タッチセラピーのセッションを開始する前に子ども本人から必ず許可を得てください。

●これから何をするのか、まず子どもに知らせましょう

触れてもいいのだと、こちらが一方的に判断するのではなく、子どもに確認することで、相手を尊重し、「マッサージを受けるか、受けないか」という選択肢を本人に与えることができます。

時間とともに、子どもはこの【許可を得る合図】を「マッサージの時間」として認識するようになり、自分からも「マッサージを受ける準備ができた」と合図で応えられるようになります。

ここでの特定の合図は、マッサージ以外のタイミングでは使用しません。この明確な許可プロセスによって、あなたの意図が伝わり、また子どもも反応を示す前に自分の気持ちを確認する時間を確保できます。

●子どもが発する合図を確認し、注意深く観察しましょう

タッチは私たちの最初のコミュニケーション手段です。そのため、タッチによるコミュニケーションは、子どもが求めるものを理解し、適切に対応する能力を高めるという考え方は、ごく自然なものです。

タッチは、独特の合図やコミュニケーションの形に対する自信と感受性を高めます。ゆったりとした気持ちで、時間をかけて、アイコンタクトをとりながら接することで、子どもの表情や非言語による（言葉のない）コミュニケーションを正確に受け取ることができるでしょう。時間をかけて、子どもが欲しているもの・ことに敏感になることができます。

子どもが言葉でコミュニケーションを取れない場合、許可を求めることや許可を得ることが難しく思えるかもしれません。しかし、そうではありません。他の子どもに対してと同じように、その子にも許可を求めるべきです。ただし、口頭での「はい」「いいえ」ではなく、ボディランゲージやその子からの合図に注目しましょう。リラックスして楽しそうに、あなたを見て微笑んでいる様子はありませんか。明るい表情でこちらを向いているかもしれません。反対に、子どもが不快そうに顔をしかめたり、そっぽを向いたりしている場合は、マッサージを始めるには適していない場合があります。

●シンプルな【許可を得るプロセス】は、健全なスキンシップをサポートしながら、適切な境界線を確立するのに役立ちます

人格形成に最も重要な時期にスキンシップの許可を求めることで、良いスキンシップとそうでないスキンシップの概念を確立することができます。子どもは幼いうちから、スキンシップに関する健全な境界線を身につけることができます。健全なタッチと有害とされるスキンシップの違いを理解するだけでなく、自分自身を信頼し、スキンシップを求めるタイミングも理解できるようになるでしょう。

あなたと子どもとの間に尊敬・尊重の念を育み、自尊心や自己肯定感など、生涯にわたってその子の糧となるものを植え付けます。

自分の求めるものに誠実に応えてもらえた自覚を持ち育った子どもは、成人してから心身ともにより健康な人間に成長します。

触れ合いに対してポジティブな見方を学び、愛情に満ちた触れ合いを受けることは、健全な自尊心、自己の境界線に対する感覚、そして自己信頼感を備えた大人へと成長する可能性をはるかに高くします。





A.WORK.OF. 
LIDDLEKIDZ.ORG